



都立病院労組 ニュース

第1期 1号

2022.11.1

地方独立行政法人都立病院機構労組
執行委員会発行

誰もが 納得 できる
資格手当の制度設計を！

第1回定期大会開催、代議員の発言が明らかにする現場の実態 人員増！ 労働条件改善のために頑張ります



10月28日（金）都立病院労組第1回定期大会がZOOMとリアル参加のハイブリッド方式で行われ、運動方針・予算案等が決定されました。大会では活発な議論が行われました。議論から見えてきたのは、人員不足と決まらない資格手当に対する不満です。

都立・公社病院時代、急速に変化する医療環境に人員体制が追いつかないままでした。そのため「独法化されれば柔軟な採用が可能になる」に期待した方もいたでしょう。独法化され

て4か月がたちましたが、「柔軟な採用」とは程遠いのが現場の実態です。「退職後の補充が学生アルバイト」、「柔軟な採用なんてなく人員は減る一方」、「儲けなければ人が付かない」、「事故休が多く年休が取れない」、「独法化しても都立病院と明言するなら、行政医療の役割を果たせるように人員補充が先決」など人員不足を訴える発言が相次ぎました。

資格手当をめぐって多くの代議員が発言しました。「看護職員等待遇改善手当がコメディカルに広げられなかったのは残念」、「納得できる資格制度の早期実現を」、「コメディカルの中には主任以上のポストがない職種もある。希望とやりがいを持てるようにしてほしい」と切実な発言が続きました。

私たちの労働条件改善闘争を確立することが求められています。参加代議員の皆様、お疲れさまでした。今後も労働条件改善に向けて力を合わせましょう。

「2.5月分を全額期末手当で支給せよ」都労連が要求書を提出

私たち法人職員の冬のボーナスは今回に限り、都労連の妥結水準で支給するとされています。ちなみに23年の夏からは私たちの交渉で決まることがあります。

都労連は10月26日に団体交渉を行い要求書を提出。回答指定日を11月10日としました。都労連は、平均21,000円の賃上げ、非正規公務員の賃金水準引き上げ、55歳昇給停止の廃止などを要求しています。都労連闘争に注目と連帶を！



発行 地方独立行政法人都立病院機構労組

@toritubyoin_ro 都立病院のお役立ち情報を発信しています

あなたの職場の健康度は？いますぐチェック →



LINE@
都立病院労組

職場のお悩み相談に乗ります
LINE@アプリの登録が必要です

